

公表

保護者からの事業所評価集計結果（1単位 放課後等デイサービス）

事業所名	児童デイサービスバンビ
------	-------------

公表日 令和7年3月10日

利用児童数 令和7年1月31日時点

回収数 26人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	16	6	1	3	・見たことがないのでわからない ・子どもの人数からすると、少し教室の空間にゆとりがあるといい ・若干狭そうに見える	← 別紙で説明
	2	20	2	1	3	・見たことがないのでわからない ・もう少し職員がいるといい	法令の基準（利用者10人に対して職員2人）に対して、1～2人の加配をして対応しています。
	3	20	4	1	1	・色によって分けてくれているので子どもからしてもわかりやすいと思う ・子どもにわかりやすい工夫がされていると思う ・見たことがないのでわからない ・階段が少し急かなと思うことがある	構造化を行うことで、子どもたちが自ら行動できる環境を設定し、また、子どもたちのそれぞれの特性に合わせてカスタマイズすることを心がけています。
	4	23	2	0	1		清潔さや事故に繋がらないようにいつも心がけています。
適切な支援の提供	5	24	1	0	1	・とても思う ・よく見てもらっているので信頼している	月1回の外部講師の専門研修や子どもたちを通した職員の課題への取り組みなど、日々研鑽に励んでおります。
	6	24	0	1	1		TEACCHプログラムに基づいた支援を行っています。
	7	24	1	0	1	・子どもの特性に寄り添ってすごく考えてくれていると思う	子どもたちの芽生えの部分に着目し、バンビで構造化することで、自然にまたは意図して課題解決していくよう日々取り組んでいます。
	8	25	0	0	1		保護者様の感ずるお子さんの課題に対してスモールステップの案を提示したり、長期的に取り組む内容は日々経験を積み重ねられるように計画されています。
	9	26	0	0	0		計画に沿って支援できるように、計画書類は支援の場に公開しています。
	10	25	0	0	1		お子さんの育ちを見ながら進めています。
	11	10	3	5	8	・他の子どもさんと一緒に遊ぶのは大変だと言っている ・コロナ以降難しいのかなと思う	放課後児童クラブ等は地域に該当するお子さんか？の問題もあるため、スポーツ交流会、ミュージックフェスへの参加。長期休暇には地域の事業所と一緒に出掛けたりしています。
保護者への説明等	12	25	1	0	0		何か変更があった場合には、変更部分を文書で説明し同意を得ています。
	13	26	0	0	0		常に意識して取り組んでいます。
	14	19	1	1	5		保護者会にて支援や特性の説明は行い、相談も受けてきました。また、ご家庭でのお悩みはそれぞれですし、実践しないと変化していかないため、面談などを通じて個別に具体的な方法を提示し対応していることが多いです。
	15	26	0	0	0	・毎日とても詳しく話してくれる ・送迎時に直接子どもの様子を教えてくれて嬉しい	連絡帳や送迎時のコミュニケーションでお伝えしています。保護者の困りごともお聞きしています。

	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	1	・帰りの時に、相談するとそれに対する助言をくれる	最長6ヶ月に一度は面談を行っており、子育ての助言等は日々行っています。
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1	・一緒に子育てしてくれているようで助かっている	職員も成長を望んでいるので成長の瞬間は本当に喜び、事業所内で共有しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	3	1	4	・保護者会に参加できなかったが、機会があれば次回は参加したい ・保護者会は参加したが、兄弟向けイベントは知らない ・兄弟向けイベントの開催については分からない ・兄弟向けイベントは特になくと思う ・兄弟への支援については開催の有無がわからないので「どちらともいえない」にした	きょうだいへの取り組みは、将来、きょうだいのお子さんが同じ立場での仲間ができたり、思っていることを話せる場や関係性ができればと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	0	1		相談や保護者の心の声を含めて受け止められるように接しています。連絡帳や電話、LINE、送迎時にも、発信しやすい媒体でお伝え頂けるように工夫しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	1	0		話せないお子さんの発信力を高める取り組み（PECS）を行っています。保護者からはLINEなどを使用して情報発信して頂いています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	3	0	1	・インスタで見ている ・SNSでの発信をもっとしてほしい	活動内容はInstagramへの投稿を行っており、行事予定は利用カレンダーで案内しています。自己評価はHPで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	2	0	2		日々、個人情報の漏洩には注意を払っていますが、文書を入れ間違えたりするミスが生ずることがあり、再発防止に取り組んでいます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	0	0	2	・施設についてとても詳しく説明してくれる	必要な部分の発信は契約時などに文書で配布しています。季節に必要な情報もおたよりで発信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	0	0	4		毎月、避難訓練や準ずる活動を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	2		契約時にアンケートなどで情報を頂いたり、対応方法の共有を行ったりしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	3	・すぐにLINEや電話で教えてくれる ・そういった状況になったことがないのでわからない	事故は起こらないように努めていますが、起こった際にはその詳細と謝罪をお伝えし再発しないように対策しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1	0	0	・長く利用しているので安心して通所している	何かご家庭での変化があった場合には共有して、支援内容は楽しく行えるようにお子さんの目線に合わせた支援に取り組んでいます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	4	1	2	・もっと行く日を増やしてと言うくらい、通所を楽しみにしている ・同世代の友達も多く、通所を楽しみにしている ・予定表を確認するとき、今日はバンビの日だねと喜んでいる ・楽しく行く時もあるし、行き渋る時もある	概ね楽しんで頂けて私共も嬉しいです。日々、お子さんの成長を楽しみにしています。何かお子さんの気持ちに変化や行き渋りがあった場合には遠慮なくご連絡ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1	0	0	・とても満足している ・色々な工夫をしてくれて感謝している	ありがとうございます。子どもたちの成功体験が私たちの成功体験へと繋がっています。お子さんの課題を克服していく姿は成長を感じられる瞬間ですね。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。